



令和5年10月3日

智頭町学校運営協議会 会長 吉澤 太基
地域コーディネーター 久本 知子

地域とともに

～学校運営協議会とは～

9月25日、第3回学校運営協議会が開催されました。今回は、学校運営協議会についての紹介と報告をします。

学校運営協議会は、学校・地域・保護者の代表、地域コーディネーターが参加して学校運営について話し合う会です。学校側から、学校運営について説明があり、それに対して承認と意見を述べることができます。

また本会では、学校の課題解決のために、「あいさつ部会」と「居場所づくり部会」に分かれて、具体的な取り組みについて話し合いを行っています。

<協議会メンバーの紹介>

地域・保護者・学校代表

運営協議会会長 吉澤 太基（智頭中学校 PTA 会長経験者）

運営協議会副会長 平井 明博（町P連会長経験者）

委員 浮田 崇（智頭小学校 PTA 会長経験者）

最上 真澄（公民館連絡協議会会長）

大藤 智雄（青少年育成推進指導員協議会会長）

大呂 佳己（地区振興協議会連絡協議会会長）

岩本 孝治（智頭農林高等学校校長）

奥村 美佳（ちづ保育園園長）

山本 詠一（智頭中学校校長）

矢部 佳子（智頭小学校校長）

<第3回 学校運営協議会報告>

学校運営協議会の全体テーマ決定！！

じげ じげ 「智頭の子は、智頭が育てる」

子供たちは将来の智頭町を担う大事な「じげの宝」です。地域の皆様に見守っていただき、育ててもらいたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

～あいさつ部会から～

挨拶は人と人がつながる第一歩です。大人が手本を示すとその後ろ姿から子供たちは学んでいきます。地域のみなさんにもご協力いただきたいと思います、テーマを話し合いました。

あい

テーマ「あいさつは 大人の愛さっ やってみよう」

いつでも、どこでも合い言葉（愛言葉）としていきたいと思います。ホームページやコミュスクだよりで広報していきます。また、各地区に啓発のための、のぼり旗を設置していく予定です。

～居場所づくり部会から～

コロナ禍が明け、各地区運動会や祭りが戻ってきて、地域の中に子供たちの居場所が増えてきています。学校でも地域の方にボランティアでおいでいただいたり、職場体験や町探検で地域に出かけて行ったりして、交流を深めていきたいと考えています。（裏面へ続く）

2 学期、新たな取り組みが始まります

智頭中学校では、11 月からボランティアのみなさんと生徒と一緒に給食を食べ、交流していきたいと考えています。募集案内が届きましたら、ご応募よろしくお願いします。

また、同じく 11 月から面接練習が始まります。子供たちの教育に携わっておられた方々に学習支援（面接練習等）のボランティアをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。ご協力ありがとうございます。

小学校 2 年生町探検の様子(9 月 21 日・22 日)



2 年生の生活科「町探検」の引率に、延べ 6 人のボランティアさんが協力してくださいました。

「町探検」では、3 グループに分かれて町内のお店や施設に行きました。ボランティアの皆さんには各グループについていただき、後ろから児童の安全を見守っていただきました。

おかげさまで、児童は安全に見学することができました。ありがとうございました。

9 月 13 日から 5・6 年生のミシン学習が始まりました。6 名のボランティアの方々が都合のつく時に参加してくださっています。今のところ 6 人の方で 37 回来てくださる予定です。5 年生は初めてのミシンです。上糸、下糸の通し方から学習し、ナップザックを製作します。6 年生は、エプロンです。自分で作った物はうれしいものです。できあがるのが楽しみです。ご協力ありがとうございます。

小学校 6 年生家庭科学習 (9 月 26 日)



WIN-WIN の関係で

ボランティアに来ていただくと、子供たちや学校が助かるだけでなく、ボランティアの方々も子供たちから元気をもらい、役立ち感（自己有用感）を実感できるよう。届いた感想をお伝えします。
ぜひ、学校と関わっていただき、智頭の子供たちと一緒に育て見守ってくださいますようお願いいたします。
(感想)

- ・初めてのことで子供たちへのアドバイスが難しかったです。時間内に、3 つのボタンがほぼ全員がつけられたことに感動でした。私みたいなものでもよければ、またお声をかけてください。
- ・水やりと草取りをさせてもらいました。自己有用感が勝手に一人で高まりました。ありがとうございます。

(コーディネーターのひとり言)

2 年生町探検で「楽之」を見学させていただきました。何回か食事に行ったことがあるのですが、今回の見学で扉の取っ手は「なた」、天井を見上げると「鎌」や「鍬」のシャンデリア、など説明を聞くまで見逃していました。私も新しい発見がありました。

その他見学させていただいた「オグラ写真館」「夢や」「諏訪酒造」「下山書店」「観光協会」「こだぬき亭」「大判焼き」「中西文具店」でも子供たちはいろいろな発見があったことでしょう。ありがとうございました。

5・6 年のミシン学習には、縫製の仕事をしておられたその道のプロの方も来てくださっています。今までは糸の色を変えるために上糸を全部抜いて新たに上糸をかけていました。でも、プロは違いました！！上糸の糸立てのところまで切って繋いで、下から引っ張るそうです。いちいち上糸を新たにかけなくても通っていくので、とても時間短縮になる方法です。

児童が上糸をスムーズにかけることができるようになったら、知っておくと便利な方法を教えていただきました。